

助成事業完了報告書

報告日付: 2020年 4月
事業ID: 2019497017
事業名: 障害者通所就労支援施設「ワーク
センターうめの木」の改造
団体名: 社会福祉法人うめの木学園
代表者名: 理事長 山口 俊一郎 ⑩
TEL: 0761-41-1301
事業完了日: 2020年 3月 30日

1. 事業内容(実績。700文字以内):

- (1) トイレの改造
- (2) 手洗い場の改造

2. 事業内容詳細:

(1) トイレの改造

① トイレのバリアフリー化

* トイレ入口の段差解消

② トイレ入口の開口部を拡張し、開き戸から引き戸に交換

③ 男女各2室ずつある個室ブースのうち1つを拡張

これらのことにより、車イスでの使用が可能になり、さらに職員によるトイレ介助が行いやすくなった。

(2) 手洗い場の改造

① 電気温水器の設置

② 酸性電解水生成装置の設置

これらのことにより、快適な衛生環境を提供できることになった。

3. 契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- ① 1978年建築当時そのままの段差のあるトイレを改造することにより、高齢化・重度化が進みつつある現利用者が、より安全で快適な環境の下で就労することができ、さらに新たな利用者開拓につながる魅力ある施設環境をPRすることで、就労継続支援B型事業の1日当たり平均利用者数を、短期的には昨年度の29人から定員である32人に引き上げることを目標とし、長期的には定員規模を40人に増やすことを目標とする。
- ② トイレがバリアフリー化することにより、車いす使用の児童も安心して利用できる放課後等デイサービス事業所を目指す。

【目標の達成状況】

- ① トイレ改造により、玄関を除く館内のほぼ全てがバリアフリー化し、より一層安全で快適な施設となり、高齢化・重度化した利用者にとって働きやすい職場環境が実現した。
この春、特別支援学校を卒業した生徒を4月から3名受け入れることができたが、今後も積極的に魅力ある施設環境をPRすることで、利用者数の増加が見込まれる。
- ② トイレ改造により、これまではブースが狭いことで苦勞していたトイレ支援が行いやすくなり、さらに車いすの児童も安心して受け入れることができるようになった。

4.事業実施によって得られた成果:

- ①就労継続支援B型事業においては、定員32名のところ、4月初日現在32名の利用登録があり、今後毎年2名程度ずつ登録者数を増やしていくことを目指し、4年後の2024年4月には、定員40名にすることを最終的な成果として目指す。
- ②放課後等デイサービス事業においては、定員10名のところ、4月初日現在20名の利用登録がある。安全快適な施設環境をPRすることで、登録者数の維持が見込まれる。

5.成功したこととその要因:

就労継続支援B型と放課後等デイサービスは、同じ建物内で実施しており、放課後等デイサービス利用者に今回の助成事業をPRすることで、児童の一部が卒業後に就労継続支援B型を利用する契機になった。

6.失敗したこととその要因:

特になし。

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案:

施設環境が整備されたからといって、すぐに利用者増につながるものではないため、継続的に情報発信に努め、漸次利用者数を増やしていく。

事業成果物:

【成果物の名称】 写真

障害者通所就労支援施設「ワークセンター」改造工事 完成写真



写真-大分類: 完成写真

写真区分: 建物正面



助成表示



写真-大分類: 完成写真

写真区分: 建物全景



写真-大分類:完成写真

写真区分:男子トイレ入口

※段差解消



写真-大分類:完成写真

写真区分:男子トイレ

※車いす対応



写真-大分類: 完成写真
写真区分: 女子トイレ入口

※段差解消



写真-大分類: 完成写真
写真区分: 女子トイレ

※車いす対応



写真-大分類: 完成写真
写真区分: 手洗い場



写真-大分類: 完成写真
写真区分: 手洗い場



写真-大分類:完成写真

写真区分:酸性電解水生成装置



写真-大分類:完成写真

写真区分:電気温水器